ショートトリップ

松本まりかさんをご案内 世田谷

Marika Matsumoto

初めての一人暮らしが世田谷だったという松本まりかさん。今年2月から下北沢で舞台を控えており、少し足を延ばした先にある梅ヶ丘で、彼女の日々に欠かせないものが楽しめるお店にご案内しました。

木洩れ日をスポットライトに軽快なステップで緑の木立を歩く姿は、まるで映画のワンシーンのよう

profile

松本まりか

1984年、東京都出身の俳優。『夜、鳥たちが啼く』が12月9日に公開、2023年NHK大河ドラマ『どうする家康』に出演など、待機作が多くある。

風に揺れる木の葉の音に癒されます♪

今回のTrip

vol.3

梅ヶ丘

公園や緑に囲まれた閑静な街並みに全国区の老舗や新進気鋭の名店を擁するグルメな街。

「和洋を問わずスイーツは大好き！　洋菓子なら王道のショートケーキ、和菓子ならとにかくお餅系。お団子や大福は差し入れにも喜ばれるので、地方ロケの時には、いつも地元の方しか知らない隠れた名店を探します」。共演者やスタッフの〝美味しい！　こんなの知らなかった〟という言葉が何より嬉しいと松本さん。「本当は毎日食べたいけど、仕事上我慢する時もあります。だから、毎朝のフルーツが一番身近な甘いものです」

案内したのはその両方を楽しめるこちらのお店。「流行のパンケーキも良いけど、私はシンプルなホットケーキ派。寝かせた生地を銅板で焼くから、外はサクっと香ばしくて中はモチっとふんわり。自家製メープルシロップもカラメル風味で素敵です」

毎日欠かさないフルーツにはこだわりがある。「飽きないように、ちょっと珍しい品種や産地での味の違いを楽しんでいます。最近特に感動したのは、モロッコで食べた〝サボテンの実〟。甘酸っぱくて最高なんです！」フルーツサンドは思い出の味だそう。「幼い頃から、祖母に連れられてよくフルーツパーラーに行っていて、私は決まってフルーツサンド。ブームになる前からずっと食べ続けていることが、私の小さな自慢です（笑）。この店のものは、先ずフルーツがどれも素晴らしくて、その味を邪魔せず引き立てる生クリームが最高です」

梅ヶ丘を訪れたのは実に15年ぶりという松本さん。「下北沢と経堂に挟まれているのに、街並みに静かで落ち着いた雰囲気がありますよね。そこに新旧のグルメな有名店があって、今後はさらに注目を集めそうな穴場スポットだと思います」

spot.1

世代を超えて愛される
春を告げる花の名所

羽根木公園

はねぎこうえん

約60品種650本ほどの見事な梅林や、区の名木百選に選定された桜並木など、開花時期には多くの人が訪れる。全国初のプレーパークや野球場、庭園や茶室などもあり子どもから大人まで楽しめる。

駅から約5分の距離ながら、敷地は北沢エリア最大の規模を誇る。梅の開花は例年12月中旬～3月上旬頃まで

data
住 世田谷区代田4-38-52
☎ 03-3322-0415

遊び場や見どころが満載です

写真＝齋藤ジン　文＝管野貴之　ヘアメイク＝斎藤誠　スタイリスト＝飯嶋久美子

spot.2

いまはなき老舗名店の
“懐かしの味”を継承

ホットケーキパーラー Fru-Full 梅ヶ丘店

ホットケーキパーラー フルフル うめがおかてん

惜しまれつつ閉店した宮内庁御用達の老舗果物店『万惣』。名物のホットケーキを長年担当した其田秀一さん、果物担当の川島克之さんにより、赤坂の1号店に続き2013年にオープン。

data
住 世田谷区松原6-1-11
☎ 03-6379-2628
営 11:00～18:30(L.O.18:00)、土・日曜、祝日10:00～
休 水曜
fru_fullumegaoka

Recommender

編集 大津

以前、ホットケーキの企画でお世話になったのですが、サクふわの食感が忘れられません。フルーツたっぷりの自家製バンナコッタもオススメ！　見た目も可愛いので、ぜひ手土産に。

1

昭和の雰囲気を残す味で勝負の正統派！

2

シンプルな「ホットケーキ（スタンダード 700円）」。様々なフルーツや生クリーム、アイスのトッピングも用意

大好きなバターをたっぷりのせるのが私のこだわりです

3

おすすめの食べ方はありますか？

1）池波正太郎など数々の食通を唸らせた名店の味を受け継ぐ。生地ひとつとっても、混ぜ方や前日と当日の2度仕込みなど、様々なこだわりがある。2）「1枚を端に寄せて両方にバターを塗り、重ねてから6～8カットにして、少しずつシロップをかけながら食べるのが基本です」と其田さん。3）ホットケーキやフルーツサンドはテイクアウトも可能。さらにショーケースには、フルーツたっぷりのムースやバンナコッタなども並ぶ

4

ビタミンCのポーズ！

ジャイアントプルーン好き♡

右）旬の6～7種類で彩る「フルーツパフェ（1,300円）」左）植物性を加えて軽くした生クリームの「いちごサンドイッチ（1,300円）」。

ダミ

まりかさんの旅のおとも

後送

この水筒があればロケも頑張れる♪

水筒は欠かせないアイテム。「今年は大自然の地方ロケが多く、現地でしか手に入らないハーブティーやコーヒーなどを入れて暑い夏も楽しめました。この冬は琵琶湖ロケ。寒い日も乗り越えます♪」

ノースリーブタックブラウス ¥36,300、ドレストレンチコート ¥52,800 ／ PANORMO　問合先／ PANORMO 03-6455-3466　http://www.junokamoto.com/